

学校教育だより

習志野市教育委員会

学力向上は
教師の指導力



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1151(代表) 令和元年7月17日発行 NO. 107

題名: 席を譲ったけれど

ねらい: 思いやりの心をもって他者と接するとは
どういうことだろう。

◎あなたは優先席が必要だと
思いますか。

(はい) 24人

(いいえ) 7人

「はい」と答えた生徒のネームプレート

「いいえ」と答えた
生徒の
ネームプレート

(理由)
譲られすぎも気が引ける
譲りやすくなる

普通の席でも譲るべき
混んでいるとそこまで行くのが大変
優先席だから譲る×

「授業力向上」こそ
教師の使命!



「特別の教科 道徳」を教える 市古先生 (第四中学校)



研究の柱を道徳に据えている
香澄小学校

今年度の指導課の新しい重点は、3つあります。
1つ目は「ユニバーサルデザインの視点を持つこと」、
2つ目は「学びに向かう力をみとること」、
3つ目は「到達状況に応じた支援」です。
以前から大切にしてきた、発問、ノート指導、
板書の構成、ICT機器の利活用もしっかりと念頭に
置きながら、日々の授業研究に励み、子どもたち
一人一人のニーズに合った教育活動を展開して
いきましょう。

第107号 目次

- ◆授業力の向上を目指して … 2・3
- ◆H30 全国学力・学習状況調査から … 4
- ◆キラット・ジュニア防犯隊・谷津干潟をキレイにしよう … 5
- ◆習志野高校の活躍・教育長コラム … 6

授業力の向上

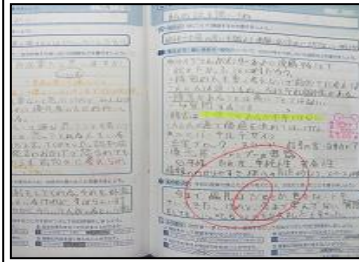
児童生徒に学力をつけさせることが私達教師の使命です。児童生徒は誰もが「できるようになりたい」と願っています。「わかった!」「やればできるんだ」という達成感を味わわせることがさらなる意欲を生み、理解の定着を促します。

各校では、授業研究が行われ、授業力を磨き合い高め合っているところです。

授業力の向上のためには、児童生徒の実態把握や教材研究、学習に有効な資料や補助教材の作成等、様々な要素がありますが、今回は指導技術に焦点を当てて、実践からポイントを探ってみます。

第四中学校 道德教育推進教師 市古 真弓 先生

「考え、議論する道德」を目指し、試行錯誤しています。題材は、生徒が共感できる内容を選び、自分のこととして考えられるように工夫しています。対立する意見や、複数の考え方が出された際には、自分の考えに近いものにネームプレートを貼らせるなど、自己決定の場を設けています。なぜ、その立場をとったのか、という理由を語り合う中で、意見や考え方を変える生徒も多くいます。写真(1ページ)は、「優先席は必要か」というテーマで意見を交換した場面です。多くの生徒が「必要」と考える中で、数人の生徒は「不必要」と主張しました。「優先席の有無に関わらず、席



を譲る必要があれば譲るべき」という理由に、心を動かされる生徒が多くいました。道德ノートは、中央に自由に使えるスペースがあるものを使用しています。最後に必ず「私の気づきと振り返り」を書いています。

学ぼう! 指導技術

袖ヶ浦東小学校
2年生 国語学習
物語文
「きつねのおきやくさま」
春名 佐友里 先生



【ポイント③】 ノート指導

登場人物の心情の変容や葛藤を♡に着色して表現させ、そう考えた理由や根拠を記述させている。語彙の少ない低学年児童にとっては微妙な変容を表現しやすい。交流の際も、考えを比較しやすい。

【ポイント①】ユニバーサルデザイン 児童のノートのマス目と同じ文字数で板書。児童が脱字に気づきやすい。

【ポイント②】学習規律 「鉛筆マークがついたところは、ノートに書く」という学習規律が定着。鉛筆マークが貼付されたら、児童は速やかに書く準備を行っている。

【ポイント④】交流学習 本時のまとめとして書いたノート(ワークシート)を隣の友達と交換して読む活動を実施。自分がよいと考えた所に朱線を引く活動を組み込むことで、友達のまとめをじっくり読み、良さを考える思考活動が行われる。友達のノートに線を引くので、定規を用い、慎重に作業していた。この後、ワークシートはノートに貼付し、振り返り学習でも活用。

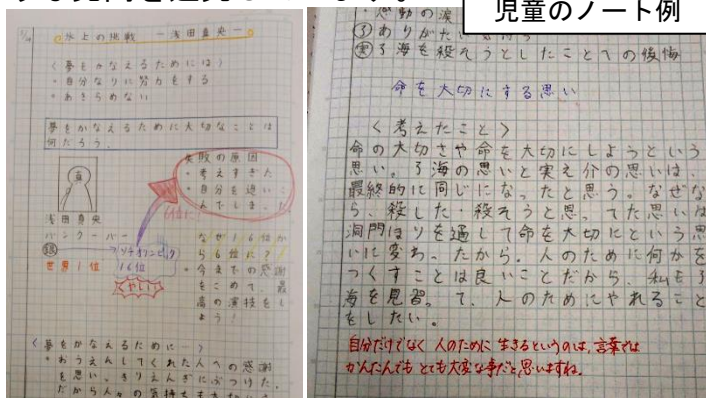


香澄小学校 研究主任 山口 学 先生

「考え、議論する道徳」を実践するために、発問の吟味や板書の構造化、児童同士の話し合いの深め方を研究しています。

発問は教材やその時間の課題によって異なります。児童の固定観念を覆し、児童が「当たり前」と思っている事柄について改めて考えさせるような発問を追究しています。

児童のノート例



授業力チェック✓

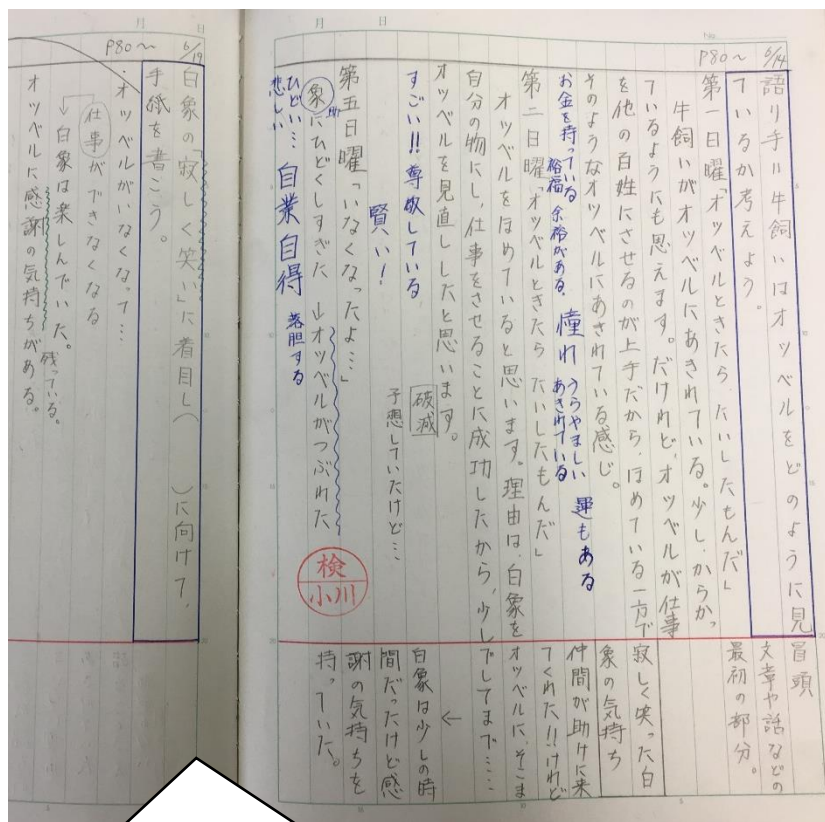
次に示す10項目は、文科省から委託を受けた「特定非営利活動法人 TOSS」が作成した評価指標です。これが全てではありませんが、自分の授業を振り返る参考にしてください。

- 1 意図が明確でわかりやすい発問か？
- 2 明確で端的な作業指示か？
- 3 あたたかな表情で臨んでいるか？
- 4 適切な声の大きさとトーンか？
- 5 授業中、子供と目を合わせているか？
- 6 適切な立ち位置か？
- 7 机間指導や個別対応の動線は適切か？
- 8 授業に心地よいスピード感はあるか？
- 9 注意すべき時機を逃さずに対応しているか？
- 10 チャイムと共に始め、チャイムと共に終わっているか？

(引用元 HP <http://toss.gr.jp/kyoushiryoku/evaluation-index>)

第二中学校 1年生 国語学習 文学教材「オツベルと象」

小川 慧一 先生



【ポイント⑥】 目的が明確な交流
本時では、学習のまとめとして書いた「白象から〇〇に向けての手紙」を活用して交流。対象として選んだ「〇〇」が異なる者同士で考えを聴き合う。物語の中で起きた事件を様々な立場から捉えさせ、読みを深めさせた。

【ポイント⑦】 授業のテンポづくり
交流学习の時間だけ班の形を作らせることで、生徒に活動目的を意識させると共に、授業のテンポをつくり、生徒の集中力を持続させていた。

【ポイント⑤】 ノートの有効活用

〔上段：思考活動を促す〕 自分の考えをまとめる。なるほどと思った友達の意見や板書のキーワードを、色を変えて書き込む。

※ノート指導の基盤となる書写能力を日常から鍛える必要がある。読みやすい文字で速く書ける力は必須。

〔下段：学習を振り返る〕 本時の学習を端的にまとめ、復習に活用する。

【ポイント⑧】 意図的・計画的な机間指導

本時では、教師が質問することで思考を整理させ、読み取りを深めさせる個別指導を実施。

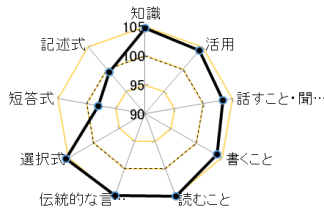


平成30年度全国学力・学習状況調査から

平成30年度の全国学力・学習状況調査から見えてくる本市の課題と対策を紹介します。

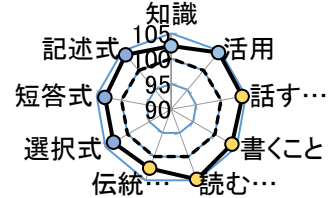
国語

小6	習志野市	全国
国語A	74	70.7
国語B	57	54.7



調査区分ごとに
みた傾向
100が全国平均

中3	習志野市	全国
国語A	78	76.1
国語B	64	61.2

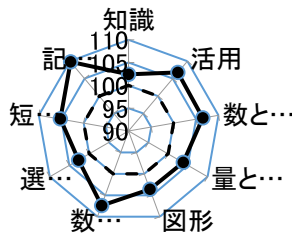


小学6年生については、国語A・Bともに3ポイント程度全国平均を上回っていますが、調査区分ごとにみると、「記述式」「短答式」の問題に弱い傾向が見られます。主語と述語の関係や話し手の意図を自分の意見と比べて考えることが大切になってきます。

中学3年生については、国語AよりもBの方が若干正答率が高い傾向にあります。調査区分ごとにみると、「知識」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が少しだけ低いことがわかります。慣用句やことわざなどの言葉の知識が浅く、多くの言葉に触れる機会を増やしていく必要があります。

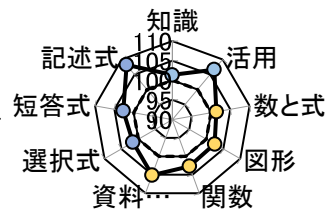
算数・数学

小6	習志野市	全国
算数A	65	63.5
算数B	55	51.5



調査区分ごとに
みた傾向
100が全国平均

中3	習志野市	全国
数学A	67	66.1
数学B	50	46.9



小学6年生については、算数AよりもBの方が全国平均より高いことがわかります。「記述式」「数量関係」の問題はよくできていますが、「知識」については、全国との差が小さくなっています。特に、混み具合の問題、比の関係の知識が不足しているので、具体的な例を挙げたり、グラフや表との関係をしっかりとめたりする必要があります。

中学3年生についても、小学校の算数と同様の傾向が見られています。特に、「記述式」「活用」は、全国平均を大きく上回りました。逆に、「知識」「数と式」の区分では、全国との差が小さくなっています。各単元の知識が低い傾向にあります。用語や四季の意味を理解させる、計算の反復練習を行うなど基礎・基本の定着を図る必要があります。

この結果は、あくまでも昨年度の小学校6年生、中学校3年生の実績になります。習志野市独自で行っている学力テストの結果も活用し、児童生徒の実態を踏まえた指導改善をすることが、一番大切なことです。子供たちの学力が向上するために、日々研鑽に努めましょう。

キラット・ジュニア防犯隊誕生会

防犯安全課が主催する「キラット・ジュニア防犯隊の誕生会」が6月15日（土）に市庁舎で行われました。小学生61名、中学生118名、総勢179名のキラット・ジュニア防犯隊によって、今年度の防犯に向けた活動が始まります。

児童生徒の抱負発表では、「習志野市の安全・安心」のために全力を尽くそうという意気込みが伝わってきました。

今後の取り組みとしては、自転車防犯診断や防犯マップの作製、街頭啓発キャンペーン等を予定しています。防犯隊の取り組みを、いかに学校、学級に広め、児童生徒一人一人の防犯意識を高められるかが重要になってきます。



教育長挨拶



参加者による記念撮影



児童代表挨拶

谷津干潟をキレイにしよう！

6月16日（日）、谷津干潟の北エリア（谷津南小学校側）に600名もの人が集まりました。環境政策課が主催する「谷津干潟をキレイにしよう！」に応募した皆さんです。

10時開始のイベントでしたが、それより早く現地につき、自主的に増えすぎたアオサを拾う方々が大勢いました。市内の小学校や中学校、習志野高校からも多くの子どもたちが参加し、自主的にボランティアに参加しようとする姿が見られました。市長の掛け声の下、みんなで真剣に拾い、なんと2660kgのアオサや漂着ごみ等を回収することができました。実施後の参加者の皆さんからの感想を紹介します。

「昨年よりもきれいになっていました。自分できれいにする感覚があって、とても楽しかったです。来年も楽しみにしています。」

「普段は中に入れないところで、カニや貝を見ることができました。これからは鳥や貝やカニが住みやすいところになるように協力していきたいです。」

「小1の娘が、高校まで毎年やると意気込んでいました。来年以降も継続していただければ幸いです。」

習志野市全体で、谷津干潟のことを考え、きれいにしようとする取り組みを今後も広めていきましょう。



拾うときは真剣そのもの



みんなで記念撮影



回収したアオサの一部

自分の将来について考える習高生

習志野高校では、毎年3年生を対象に、コース別進路ガイダンスを行っています。先日、体育館、教室では進学ガイダンス、セミナーハウスでは専門学校ガイダンス、また、公務員ガイダンスや就職ガイダンスも各教室で行われました。それぞれのブースでは、熱心に説明を聞く姿と積極的に質問する姿が見られました。

3年生のこの時期は部活と進路選択に向けて大忙しの中ですが常に真剣勝負です。このガイダンスをきっかけに、自分に合った進路を選択し、自分の夢に向かって努力してほしいです。



進学ガイダンス



専門学校ガイダンス



就職ガイダンス

祝！！インターハイに出場する習高生



ボクシング 7月28日(日)～8月3日(土) 宮崎市総合体育館
左から松永敦朗(74kg級) 茂木優羅(67kg級) 佐伯侑馬(67kg級) 堤龍斗(51kg級) 益子日向(51kg級)



柔道 8月9日(金)～13日(火) 鹿児島アリーナ
60kg級 関本 賢太

～好きですふるさと習志野～ 教育長コラム

6月30日(日)に「習志野市消防団ポンプ操法大会」が開催されました。消防団とは、消防組織法に基づき、市などが設置する地域住民による消防機関であり、消防本部と連携して、消火活動や災害時の避難誘導などに携わります。その団員は、非常勤特別職の地方公務員という身分であり、別の仕事を持ちながら消防活動等に従事しています。その技量を高めるための大会がポンプ操法大会です。大会においては各分団の皆さんがチームとなり、きびきびとした動きで火災を想定した的(まと)に放水し、その動きや時間を競っていました。実はその団員の中に本市の学校の教職員が数名所属されているのです。学校の仕事を終えてから、日々の訓練にも参加する、そして地域の皆さんとのコミュニケーションも大事にしている、まさに「地域に出て活躍する先生」です。関係の方からも「積極的に協力してくれありがたい。」との言葉をいただき、大変嬉しく思いました。

とかく学校の先生は忙しく、地域に協力することが少ないと言われる。「隣の人は学校の先生のようにだが何をやっているのかな。」といった地域の声がないわけではありません。教職員は地域の住民でもあります。「隣の学校の先生は頑張っているね。」と言われるよう、それぞれが居住する地域での役割や、行事にも積極的に関わっていただけたらと思っています。